# 第107回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成26年6月9日提出）

１．題　目：長崎大学新任教職員ガイダンス（ウェルカムＦＤ・ＳＤ）

２．日　時：平成26年4月2日（水）13:00～15:15　および4月3日（木）13:00～17:15

３．場　所：長崎大学（文教キャンパス、坂本キャンパス、片淵キャンパス）

４．主　催：教務委員会
企画・運営：評価・FD教育改善専門部会、大学教育イノベーションセンター
協　力：経済学部、医歯薬学総合研究科、熱帯医学研究所、附属図書館、情報メディア基盤センター

５．対　象：平成25年4月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

６．長崎大学ＦＤに関する指針第二項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
[　　] (1)　教員の教育活動に関するもの
[　　] (2)　カリキュラムの改善に関するもの
[　　] (3)　教育の組織的改善に関するもの
[　　] (4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
[　○　] (5)　その他教育改善及び入学者選抜方法の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義
(1) 長崎大学が目指す教育、研究等に関する基本的知識を得ること。
(2) 長崎大学にかかわる歴史を知ることにより、大学への理解を深めること。

８．プログラム構成［題目・担当講師］

4月2日（水）

**第Ⅰ部　「長崎大学が目指すもの」**
長崎大学に関する基礎知識および国立大学法人としての戦略等について紹介がなされた。

12:45～13:00　受　付（事務局3階 第2会議室）
13:00～13:05　開会の挨拶　松坂　誠應　理事（教学担当）
13:05～13:45　「新任教職員へのメッセージ～長崎大学の課題と展望～」
片峰　茂　学長
臨席者　松坂　誠應　理事（教学担当）
調　漸　理事（研究・社会貢献担当）
13:45～14:00　質疑応答
14:00～14:05　集合写真撮影
14:05～14:15　休　憩
14:15～14:55　「長崎大学の情報環境とLACSについて」
村田 嘉弘 副学長（情報担当）
14:55～15:10　質疑応答
15:10～15:15　閉会の挨拶と翌日の案内　岡田 佳子（大学教育イノベーションセンター）

4月3日（木）

**第Ⅱ部　「長崎大学歴史散歩－150年をふりかえる」**

2班に分かれ、長崎大学の歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行った。参加者の皆と共に歩く中で、長崎大学の各キャンパスに残る歴史の流れを感じていただいた。

12:45～13:00　受　付（事務局3階 第2会議室）
13:00～13:05　開会の挨拶　　高橋正克　教授（大学教育イノベーションセンター）
13:05～13:15　レシーバーのチェック等・移動
13:15～14:20　文教キャンパス歴史散歩

【文教キャンパス：原爆の惨禍の跡と新制総合大学60年の象徴】
（1）三菱長崎兵器製作所の碑：文教キャンパス誕生の意味　　【高橋正克教授・山地弘起教授
（2）長崎師範学校原爆慰霊碑:学徒動員の中での犠牲　　（大学教育イノベーションセンター）】
（3）中部講堂：水産県・長崎の拠点大学としての期待を込めた寄付建物
（4）「若人」の像：　生死の瀬戸際でも人間性を失わない強靭さを願って
（5）環境科学部正門側（旧教養部建物）：時計塔と大壁画／長崎大学と学生運動・教養教育
（6）①下村脩名誉博士顕彰記念館（薬学部）
　　②お薬の歴史資料館（薬学部）　　【岸川直哉准教授（医歯薬学総合研究科（薬））】
（休憩10分）

14:20～14:30　バス乗車（中部講堂前）・バス移動

14:30～15:40　坂本キャンパス歴史散歩

【坂本キャンパス：生命科学の拠点であり続ける理由～150年の経験】
(1)　150周年ミュージアム（良順会館）　　【志波原智美主査（学術情報部】
(2)　熱帯医学ミュージアム（医学ミュージアム）　　【堀尾政博教授（熱帯医学研究所）】
(3)　原爆医学資料展示室（医学ミュージアム）　　【三根眞理子教授（核兵器廃絶研究センター）】
（休憩10分）

15:40～16:05　バス乗車・バス移動

バスルート：　高橋正克教授（大学教育イノベーションセンター）
坂本キャンパス→浦上駅前→長崎駅前→国道499号線（五島町電停付近から左折）→長崎市立図書館（旧・新興善小学校：被爆時の長崎医科大学附属病院仮施設）→旧長崎グランドホテル→長崎県庁（医学伝習所発祥地）→築町→賑橋→公会堂前→諏訪神社前→片淵キャンパス

16:05～17:10　片淵キャンパス歴史散歩

【片淵キャンパス：キャンパスが語る一世紀の伝統】
(1)拱橋（こまねきばし）：100年間学生が通い続けた石畳
(2)長崎高商門標：「第三高商」の誇り高い伝統の原点
(3)瓊林会館・赤レンガ倉庫：
　原爆被災を免れた貴重な長崎大学の歴史的建物。同窓会の強い結束
　　【大倉真人准教授（経済学部）】
(4)特別講演：「高商100年と武藤文庫」　　【赤石孝次教授（経済学部）】
(5)武藤文庫展示室（附属図書館経済学部分館）　　【宮脇千幸主査（学術情報部）】

17:10～17:15　閉会の挨拶　　山地弘起　教授（大学教育イノベーションセンター）

９．参加者

第Ⅰ部「長崎大学が目指すもの」75 名（新規採用事務職員 17 名含む）

第Ⅱ部「長崎大学歴史散歩ー150 年をふりかえる」42 名

（内　訳）

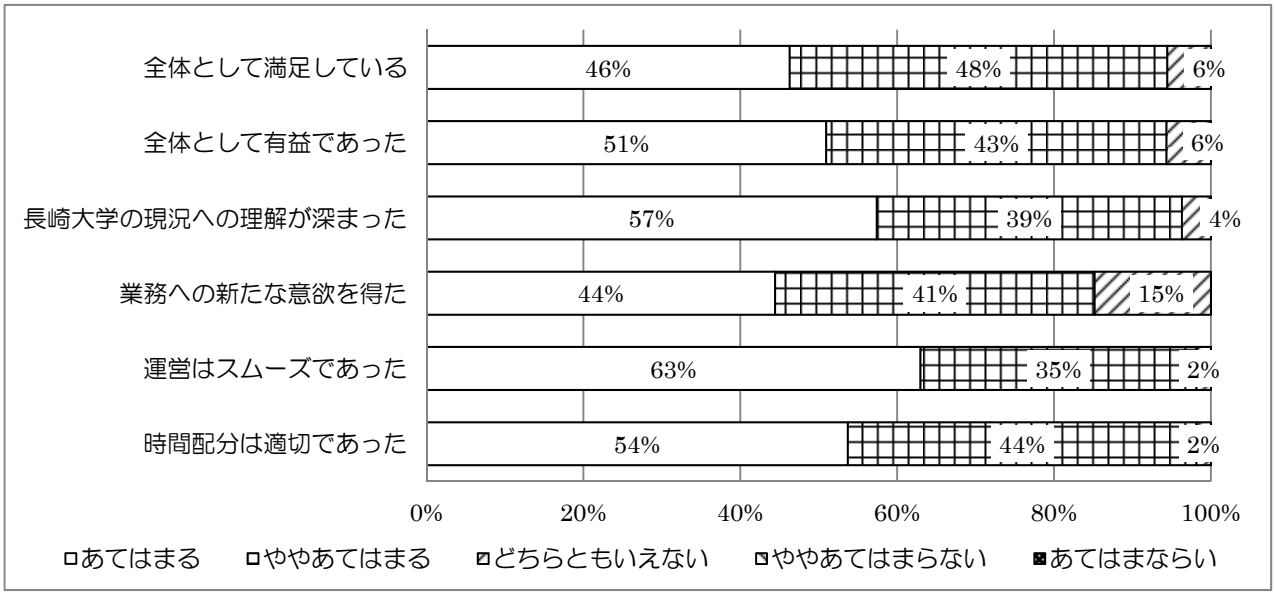
| 所　　属 | 第一部 | 第二部 |
|---|---|---|
| 教育学部 | 9 | 6 |
| 医歯薬学総合研究科（医系） | 5 | 3 |
| 医歯薬学総合研究科（保系） | 1 | 1 |
| 医歯薬学総合研究科（薬系） | 4 | 4 |
| 医歯薬学総合研究科ハイブリッド医療人養成センター | 1 | 1 |
| 工学研究科 | 4 | 2 |
| 水産・環境科学総合研究科（環境） | 6 | 6 |
| 水産・環境科学総合研究科（水産） | 1 | |
| 熱帯医学研究科 | 1 | |
| 原爆後障害医療研究所 | 1 | 1 |
| 多文化社会学部 | 11 | 8 |
| 病院 | 2 | 3 |
| 保健・医療推進センター | 2 | 1 |
| 大学教育イノベーションセンター | 1 | 1 |
| 言語教育研究センター | 2 | |
| 地域教育連携・支援センター | 1 | 1 |
| 国際教育リエゾン機構 | 1 | |
| 広報戦略本部 | 1 | |
| 監事 | | 1 |
| 事務職員 | 23(17) | 3 |
| 計 | 77 | 42 |

※内数：新採用事務職員

１０．実施したＦＤの成果等

（１）参加者からの評価

**(第Ⅰ部)**




（回答者：55 名）

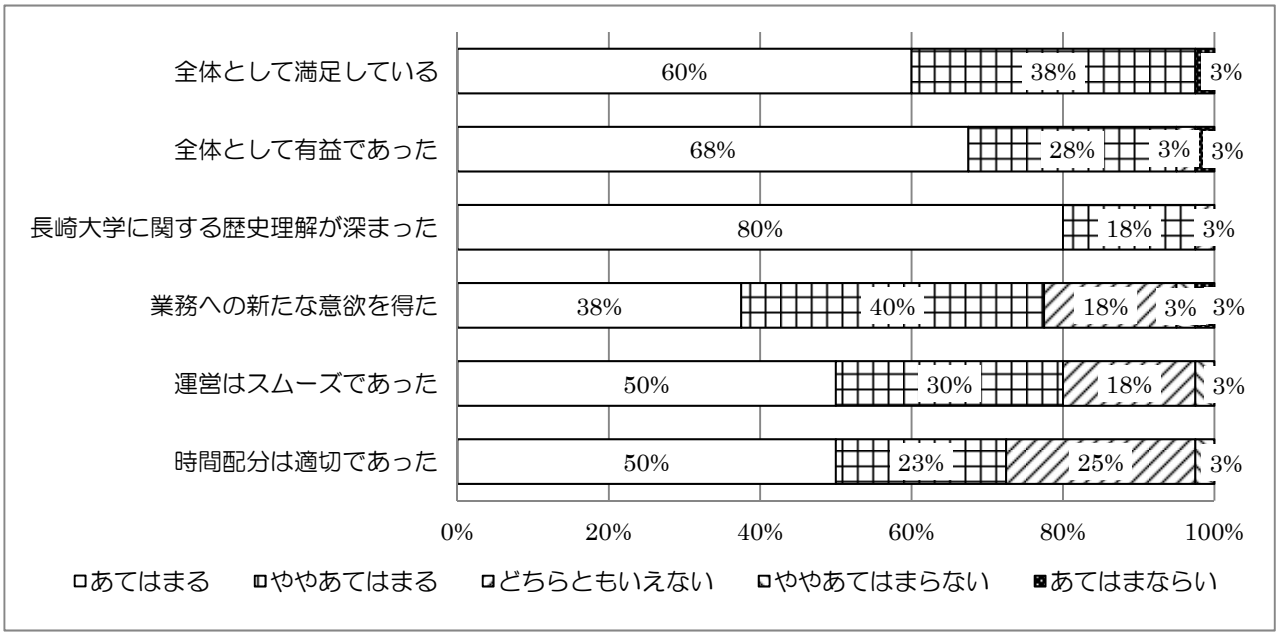
● 本日参加なさって、何か感想や意見がありましたら、ぜひ率直にご記入ください。

- 学長のお話を聞くことができてよかった。
- 道案内があり助かった。学長のお話で今の大学の概要・位置づけがわかりよかった。村田先生のお話で具体的な説明がありわかりやすかった。初の試みとのことでしたがぜひ継続していただきたい。
- 国立大学もかなり変わったと感じた。
- 多文化社会学部の研修でお聴きした内容を改めて確認することができました。(だいぶ忘れていましたので助かりました。)
- 情報についての説明は今年初めてということでしたが、円滑な教務遂行。セキュリティ保護の観点からも続ける方がよいと思う。
- 初めて教員として働くので非常に不安だったが、長崎大学の目標や情報基盤が明確になって不安が和らいだ。ありがとうございました。
- 学長のプレゼンはよかったです。(リーダーですから)
- LACS の説明は大変有益でした。
- 大学のことがよく分かりました。
- ためになることが数多くあった。
- 情報システムの説明などためになった。
- 教員にとって大変よい機会です。ありがとうございました。(着任以来、スタッフの方、親切で助かっています。)
- 4 月 1 日から業務がスタートしているため、事前に情報環境システムの使用方法についてレジュメ等をいただくことが出来れば非常にありがたかったです。
- 学内 LAN に直結でない無線 WiFi を導入できないか、担当部署にお伝えください。
- LACS の 2 年生以降への講習は部局任せにしており，全く進んでいない。進捗状況（講習終了状況）を学術情報部で取りまとめ定期的に全学にメール配信するなどすれば LACS の使用が浸透すると思う。出席管理システムに関しても同様。
- 学長のプレゼンテーションのスライドの2ページの地図中のソウルが SOUL となっておりつづりが間違っている（正しくは Seoul）
- I could not understand at all. It would have been helpful if we have the guidance in English as well. Thank you!
- The program is informative and helpful. If "bilingual" content is implemental within the program as well as the university system. It could be provide significant enhancement in "英語力".
- Regarding the "reducing population" could we educate student to "marry and have larger families"? Not just focus on the results (problem) but "do something about it?" and provide an environment to encourage this.

● 内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ご記入ください。

- 国際化が重要であると考えているようであるが具体的な計画・ゴールがはっきりせず、国際リエゾン機構の役割が他大学の国際センターより遅れていて閉鎖的であると思う。
- もっと学長の話の時間を長く取ってほしかった。
- 例えばあらかじめ学長に問いたい事を集めてもよいのでは。
- 問題がなかったと思います。
- Satisfactory
- LACS の説明が早くてわかりませんでした。
- スムーズでした。
- 分かりやすかったです。
- 全般的に問題なくスムーズであった。
- 集合写真は不要では。
- もう少し質問の時間（学長のスピーチに対して）があるとよいと思います。

（第Ⅱ部）




（回答者：41 名）

● 本日参加なさって、何か感想や意見がありましたら、ぜひ率直にご記入ください。

- 長崎大学の隠れた魅力を見た思いがします。学生を連れて行きたいと思いました。
- 病院系（坂本地区）、経済系（片淵地区）のキャンパスには殆ど行った事がなかったため貴重であった。武藤先生の言葉は全ての研究者に当てはまるものだと改めて感じた。
- 参加して本当に良かったです。本日、ご説明いただいた様々なことは、今後、長崎大学で働く上で、貴重な知見となるように思います。長崎で働くことの意味や意義をしっかり考えようと思います。
- せっかくの貴重な資料やデータの蓄積があるので、学生や他国の研究者、機関にも有効活用してもらえるような方法を考えていきたい。
- 長崎大学の持つ歴史資源（学術資源）を観光資源としても活用できるのではと思いました。熱帯医学ミュージアムの説明は興味深かったです。
- 司会の段取りが素晴らしく良いツアーでした。バスで配られたお菓子がうれしかったです。
- 長崎の歴史の重みをうけとめて、研究と教育に励みます。
- 医学部（熱帯医学、原爆医療）の見学は非常に興味深かったです。学生にもぜひ見てもらいたいと思いました。
- 長崎大学の歴史について理解できて良かったです。レシーバーも良かったと思います。
- キャンパス内の見所をもっと広報した方がよい。
- 昔の方の熱意を感じました。
- 楽しく過ごさせて頂きました。ありがとうございます。
- 解説して下さった全ての先生方の知識が広いのに驚いた。教職員にも愛校心がわくよい取り組みだと思う。又、教員同士顔見知りになりとても嬉しかった。つながりや協力ができるチャンスをいただいた。車内のおやつやゴミ袋といった心遣いがありがたかった。運営ありがとうございました。
- 今後も続けてほしい。医・経 両方よかったです。
- 大変興味深く充実した内容でした。職場の歴史を知っておくことは大切なことと思います。細かな面までご準備・ご配慮頂きましてありがとうございました。お疲れさまでした。
- よい
- 雨は残念でしたが面白かったです。
- 雨は残念でしたが傘を貸して頂いてありがたかったです。
- 天気が残念でした。
- 坂本キャンパスの歴史がいまいち情報が少なかった。
- 寒い、つかれた。

- Thank you for the university tour. I could (really) understand the explanation because of excellent translation. Thank you very much.
- I never knew anything about the displays etc. that where kindly shown to us.

● 内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ご記入ください。
- 原爆医学資料展示室は、短いアニメではなく展示資料の説明を伺いたかった。
- どのキャンパスでも丁寧な説明をしていただき、ありがとうございました。(ご案内をしてくださった先生方、スタッフの皆さんも含めて！)
- 担当教員の頑張りに感謝する。
- お菓子が出てくるのはGood
- 充分だと思います。
- よい
- 一つ一つがやや長い。トータルの時間がもう少し短い方がよい（正直この時期忙しいです）
- Fine weather

（2）総　括

**(第Ⅰ部)**

昨年に引き続き行われた学長による本学の紹介と今後の目標や課題についての講演に加えて、今年度は、村田副学長よる導入されたLACSの紹介が行われた。どちらに対しても活発な質疑応答が行われ、参加者の興味の高さがうかがわれた。アンケートの結果においても好意的な意見が多く、昨年度より、満足、有益と感じる参加者が増加した。一方で、「業務への新たな意欲を得た」という意見は低い評価に留まっており、一方的な情報提供だけでなく、新任教員が何を大学に求めているかということの調査を行って、研究や教育へのモチベーションをあげていくような方策について提示することも必要ではないかと考えられる。その他、アンケートの回答で指摘された、日本語を解さない外国人教員への配慮が全くないことは、国際化を目指している大学としては問題であり、早急な対応が必要である。また、参加者の意見にあるように、参加者への講演資料の事前配布や、質問の事前収集などが行えれば、内容の理解や問題点の所在の認識を助け、質疑応答もさらに活発になるものと思われる。

（文責：天野 雅男）

**(第Ⅱ部)**

これまでよりもキャンパスツアーの参加者が多く、２台のバスに分乗しての実施となった。しかも、あいにくの雨であったため、足場も悪く、落ち着いて移動ができなかったことが残念である。そんな中での２班に分かれての分刻みのスケジュールは、参加者だけでなく対応して下さる教職員にもストレスになったかと思うが、例年同様、和やかに進行したことに安堵している。また、大教センターのスタッフが、傘を急遽生協で購入して貸し出したのは、傘を持参していなかった参加者には大変有り難い配慮であった。

参加者の満足度は例年よりも低い印象があるが、これは、天候や人数だけでなく、見学ルートに問題があったように思う。①薬学部の２つの展示室を今年はお一人で説明していただかざるを得なかったため、時間管理がうまくいかなかった、②文教キャンパスの古写真展示コーナーがまだ十分整備されておらず、見学ルートに入れられなかった、③坂本キャンパスの近代医学史料展示室が医学図書館の改修工事のため見学ルートに入れられなかった、あたりが理由として考えられる。今年は十分なキャンパスツアーができなかったが、来年はいずれも解決されるはずと思われる。

なお、第Ⅰ部でも指摘があったが、日本語を解さない参加者には英語で通訳することが必要となる。広報戦略本部にもお願いして、配付資料の英語版を用意するとともに、スタッフの何名かで英語通訳をする体制を組んでおくことが望ましい。　（文責： 山地 弘起）

１１．実施代表者の連絡先

教務委員会委員長　松坂 誠應
e-mail：nobuou@nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線2003

１２．申請者の連絡先

学生支援部教育支援課教養教育班
　主査　入口 忠義
e-mail：fd@ml.nagasaki-u.ac.jp
電　話：内線2077